

別記様式(第5条関係)

令和 3 年 3 月 31 日

南国市議会議長

土居 恒夫 様

議員名

西本 良平

令和2年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり
令和2年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和2年度政務活動費収支報告書

議員名 西本良平

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	58,785	行政視察経費
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	13,680	書籍購入費
合 計	72,465	

3 残 額 47,535 円

(注)・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

令和2年度 政務活動費 出納簿

議員名

議員名 西本良平

(四)

[illegible]

※項目…	1. 調査研究費	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費	5. 要請・陳情活動費
	6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費		

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 西本良平

整理 番号	2	項目	① 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 2 年 10 月 5 日 (月) ~ 令和 2 年 10 月 6 日 (火)				
相手方・ 調査先等	行政視察「地域活成の町おこし、防災の取り組み」四万十町				
場 所	四万十町役場、中津川集落活動センター(こたま)、四万十とま(株)				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	別紙				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	四万十町 往復	レンタカー代	$23,540 \times \frac{1}{4}$	5,885	
	"	高速道路料金	$2,600 \times \frac{1}{4}$	650	
	宿泊費			8,000	
	日 当		$1,600 \times 2 \text{日}$	3,200	
	その他				
	夕食代			1,200	
	合 計			18,985	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政務活動記録(活動内容について)

日時：令和 2 年 10 月 5 日(月)～10 月 6 日(火)

場所：四万十町役場他

○13 時より四万十町役場において地域の活性化策及び地震、津波対策について説明を受ける

○面談者

四万十町議会 下元議長、古谷議員

四万十市 企画課副課長 福留氏

教育委員会生涯学習課 主査 西尾氏

にぎわい創出課 武井氏

危機管理課 副課長 橋本氏

1. 地域活性化事例について

四万十町総合振興計画を策定し町街地再生基本構想の新町建設計画に沿ったゾーニングを設定した。令和 2 年 3 月に窪川地域活性化計画によってより具体化し任意団体である四万十地域おこし「まちあかり」を結成。

協議会設置

ワークショップを開催→応援団結成→事業実施

四万十町の商店街は十和、窪川、大正の 3 地区に分かれそれぞれに特色ある活動をしており人口減少の中であるが努力されていると感じた。応援団に関しては県の補助金を活用(3 年間)し団員 9 名によって活動されている。

2. 地震、津波対策について

四万十町の中でも興津地域では 10 分から 20 分で津波が到達するため、地域が一体となって勉強をスタート。

消防団の屯所を高台に移転、2 年に一度中学校等のグラウンドで炊き出し訓練などを実施しており、平成 30 年度には防災甲子園においてグランプリを受賞されている。

3. 中津川集落活動センター「こだま」にて現地視察及び意見交換(場所移動)

面談者：集落センター代表 林氏、西本氏

この集落センターは中津川流域にあり、人口 65 名、38 世帯であり、地域住民が一体となって次世代に引き継がれる持続可能な集落づくりを目指し取り組みを進めている。

主な取り組み

- ・特産品づくりと販売(加工所の活用)
- ・里山保全(風景林整備)
- ・交流事業(田舎暮らしの体験、子供キャンプ)
- ・福祉コミュニティ(日曜モーニングの実施、ふれあいサロン)
- ・継続活動(ひなまつりバイキング、どろんこ運動会など)

I ターン、U ターン者も多くこれからも十分活動が維持できると思う。

辺地ではあるが元気な活動とリーダーの心意気に感動した。

南国市の中山間地域でも十分活動可能であると感じた。

○10 月 6 日(火)14 時～

四万十とまと株式会社視察

対応者 四万十とまと(株)佐々木専務

最先端の農業を興し天気左右されない農業を目指すことで安定した収入を得る事が出来る。そして働く人たちにとって魅力的な仕事になり後継者が育っていく産業として、又農業で夢を叶えるそんな町にしていくと話され感動した。

施設はオランダ型高軒ハウスでトマトを栽培している。

売上げ目標は 2 億円で売上げの 7 割は大手飲食のサイゼリア、デルモンテ、キッコーマンなどである。

従業員は四万十町に定住してもらい現在約 30 名(パート含)が働いている。

本市も現在基盤整備を進めているが今後の展開として、施設園芸ではこういったオランダ型ハウスを導入し夢のある農業が出来るよう行政がしっかりサポートしていくべきと考える。幸い本市ではすでに(株)南国スタイルが実践しているので参考になる事例である。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名

西本良平

整理 番号	3 4	項目	① 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 2 年 11 月 12 日 (木) ~ 令和 2 年 11 月 13 日 (金)				
相手方・ 調査先等	滋賀県 長浜市 視察研修「中心商店街の活性化」				
場 所	黒壁スフィア(海洋堂スフィアミュージアム)、Xマニアーズ				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感等 を記入)	別紙				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	南園~長浜市	貸切バス	バス代	25,500	
	宿泊費			7,650円	
	日 当		2,000円 x 2	4,000円	
	その他		夕食代	1,200円	
	入館料	海洋堂ミュージアム 黒壁		900円	
	〃	Xマニアーズ		600円	
	合 計			32,850円	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

長浜市元浜町視察研修内容

○日時：令和 2 年 11 月 12 日～13 日

① 株式会社 黒壁

黒壁スクエアにて中心商店街活性化を市と連携について伺う。

対応者：取締役 伊吹氏

株式会社黒壁は資本金 5 億 4 千万円で株主構成は長浜市が 35%、地元企業 47%、個人 7%、銀行が 11%を保有する第三セクターの会社である。立上げ当初より百三十銀行長浜支店（黒壁）や長浜カトリック教会などの施設を核とした建物の保存を目的とし、歴史性や文化芸術性などを重視し現在では地域、行政、まちづくり組織が一体となりガラス工芸や体験型観光、物産などの事業展開をしている。

② 海洋堂フィギュアミュージアムは 2020 年 7 月にリニューアルオープンし運営がなされている。

岡本取締役より説明を受ける。

本市のものづくりサポートセンターのコンセプトとは違うが、海洋堂のソフビの展示を見てその技術の高さに驚いた。

③ ヤンマーミュージアム長浜(黒壁スクエアエリア内)

ヤンマー創業者の山岡氏の誕生地にあるミュージアムで 2019 年 10 月リニューアルオープンしている。

※これらの三つの施設が長浜市全体の活性化に大きく貢献しており多くの観光客の集客につながっている。これらの施設は点が線でつながっていて動線もしっかりとしている。本市と比べるわけにはいかないが、今後参考にし、ものサポを核としたまちづくりに生かしたい。